

令和3年度

福山大学大学院薬学研究科(博士課程)

学 生 募 集 要 項
一 般 入 試

福山大学大学院薬学研究科

令和3年度 福山大学大学院薬学研究科

博士課程一般入試 学生募集要項

1. アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

福山大学薬学研究科は、医療に貢献できる高度の知識と実践力を身に付けた、高い研究能力を有する人材を養成することを目指し、科学的思考力と探究心を備え主体的に学ぶ態度をもって、次のように積極的に専門分野の研究に取り組む人を受け入れる。

1. 医療に関する諸問題を広く考究し、専門分野の研究を通して医療の進歩や学問の進展に寄与できる人。
2. 実社会において薬剤師など医療技術者として活動し、知識と実践力を高め、研究能力を磨くことのできる人。
3. 医療の現場において必要な医療人としての倫理観を養い、良好な対人関係能力を有する人。

(HP 参照 : <https://www.fukuyama-u.ac.jp/grad/grad-pharm/grad-pharm-policy/>)

2. 募集人員

入試区分	取得学位	専攻	募集人員
第一次	博士（薬学）	医療薬学専攻	3名
第二次	博士（薬学）	医療薬学専攻	若干名

3. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学の薬学（修業年限が6年であるものに限る。）、医学、歯学又は獣医学を履修する課程を卒業した者及び令和3年3月31日までに卒業見込みの者。
- (2) 修士課程又は専門職大学院の課程を修了した者及び令和3年3月31日までに修了見込みの者。
- (3) 外国において、学校教育における18年の課程を修了した者及び令和3年3月31日までに修了見込みの者。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程を修了した者及び令和3年3月31日までに修了見込みの者。
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国に学校教育における18年の課程を修了したとされる者に限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和3年3月31日までに卒業見込みの者。
- (6) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者。
- (7) 大学の薬学（修業年限が6年であるものに限る。）、医学、歯学又は獣医学を履修する課程に4年以上在学し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと本研究科において認められた者。
- (8) 外国において学校教育における16年の課程（薬学、医学、歯学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る）を修了した者及び令和3年3月31日までに修了見込みの者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程（薬学、医学、歯学又は獣医学を履

修する課程を含むものに限る)を修了した者及び令和3年3月31日までに修了見込みの者又は我が国において外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程(薬学,医学,歯学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る)を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって,文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和3年3月31日までに修了見込みの者で,所定の単位を優秀な成績で修得したものと本研究科において認められた者。

- (9) 本研究科において,個別の入学資格審査により,大学の薬学(修業年限が6年であるものに限る。)医学,歯学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認められたもので,令和3年3月31日までに24歳に達する者。
- (10) 文部科学大臣の指定した者(昭和30年文部省告示第39号)

4. 出願書類

次の書類を添えて,本学薬学部事務室(11号館1階)に持参するか,簡易書留郵便で出願期間内に必着するよう郵送してください。

出願資格(4)(5)(6)(7)(8)(9)(10)により出願するものは,薬学部事務室までお問合わせください。

共通出願書類(全ての出願資格の者)

1. 入学願書・受験票(本学研究科所定のもの)
2. 志望理由書(本学研究科所定のもので,1,200字程度にまとめたもの)
3. 卒業(見込)証明書又は,修士課程修了(見込)証明書
4. 成績・単位修得証明書
5. 健康診断書(本学研究科所定のもので,令和2年4月以降に病院または保健所等で受診し,医師が作成・証明したものを提出してください。但し,本学出身者については,福山大学健康診断証明書をもって替えることができます。)
6. 写真2葉(縦5cm×横4cm)
最近1ヶ月以内に撮影した上半身・正面・脱帽の写真を入学願書及び受験票に貼付してください。
7. 振込取済済証明書(検定料の納付書:本学研究科所定のもの)

5. 出願期間

【第一次】令和2年9月16日(水)から令和2年10月1日(木)【期間内必着】

【第二次】令和3年2月12日(金)から令和3年2月25日(木)【期間内必着】

※出願書類を持参する場合の受付は,9時から16時30分までとします。

但し,土曜日・日曜日・祝日の受付は行いません。

6. 検定料 30,000円

本学研究科所定の振込依頼書で銀行振込みとし,「振込取組済証明書」を出願書類とともに提出してください。

7. 入学試験

- (1) 日時 【第一次】 令和2年10月12日(月)
【第二次】 令和3年 3月 4日(木)

(2) 場 所 【第一次】【第二次】ともに、福山大学薬学部12号館1階大学院講義室

試験Ⅰ（筆記試験）	試験Ⅱ（面接試験）
外国語（英語） （10時30分～11時30分）	専門分野に関する口述試験 （13時～）

※入学者の選抜は、試験Ⅰ、Ⅱの成績及び出願書類の内容を総合して行います。

8. 合格発表及び入学手続

(1) 合 格 発 表 11号館1階薬学部事務室前掲示板へ掲示及び本人宛に通知します。

（なお、電話等による可否の照会には応じられません。）

【 第一次 】 令和2年10月19日（月）【 第二次 】 令和3年3月11日（木）

(2) 入学手続締切日【 第一次 】 令和2年10月30日（金）【 第二次 】 令和3年3月19日（金）

9. 注 意 事 項

(1) 受験者は、受験票を入学試験当日に持参してください。

(2) 一度提出した出願書類及び検定料は理由の如何を問わず返却しません。

但し、諸納入金納入後に入学を辞退する場合は、令和3年3月25日（木）までに申し出た場合に限り、入学金を除いた額（授業料・学友会費・後援会費）を返還します。

10. 学 納 金（参考：令和2年度入学生分）

納入時期 費 目	前 期 納 入	後 期 納 入	合 計
入 学 金	200,000円 ^{※1}		200,000円 ^{※1}
授 業 料	650,000円 ^{※2}	650,000円 ^{※2}	1,300,000円 ^{※2}
実 習 費	50,000円 ^{※1}		50,000円 ^{※1}
計	900,000円	650,000円	1,550,000円

（ 受 託 徴 収 金 ）

学 友 会 費	5,000円	—	5,000円
後 援 会 費	10,000円	—	10,000円
計	15,000円	—	15,000円

※1 本学薬学部卒業生が博士課程に進学する場合、入学金及び実習費は全額免除となります。

※2 本学薬学部卒業生が博士課程に進学する場合、授業料は、年額780,000円となります。

11. 個人情報取り扱いについて

本学では、出願時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を、入学試験実施、合格者発表、入学手続及びこれらに付随する業務のために「福山大学個人情報管理基本方針」の定めるところにより取り扱います。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。

12. 障害のある受験生への支援について

障害のある学生の受験及び入学後に必要となる支援については、相談窓口「学務部教務課」にお問い合わせください。

学務部教務課 084-936-2112（内線2210, 2213）

13. 問い合わせ先及び出願書類提出先

募集要項等に関する問い合わせ及び出願書類の提出先は、「福山大学薬学部事務室」まで
【〒729-0292 広島県福山市東村町字三蔵985番地の1（Tel：084-936-2111）】

14. 研究内容（令和2年4月時点）

教 員	研 究 内 容
分子薬学コース群 石津 隆 教授 井上裕文 教授 小嶋英二郎 教授 重永 章 教授 町支臣成 教授 鶴田泰人 教授 秦 季之 教授 藤岡晴人 教授 森田哲生 教授 小川祥二郎 准教授 上敷領 淳 准教授 本屋敷敏雄 准教授	<ul style="list-style-type: none"> ○生体による薬物分子認識機構の解明 -薬物分子と生体内タンパク質との相互作用の 解明- ○アルカロイド系天然有機化合物を基盤とする創薬研究 ○分析試薬の開発に関する研究 ○生体成分の分析に関する研究 ○医薬品の分析に関する研究 ○血液成分分析に関する研究 ○血液型物質に関する分子生物学的研究 ○生体試料中微量生理活性物質の精密分析法開発に関する研究 ○多機能誘導体化試薬のデザイン・合成とそれらの分析化学的応用に関する研究 ○有機化学的視点からの生命科学研究用ツールの創成 ○ペプチド・タンパク質の化学合成法開発と生命科学分野への展開 ○電子環状反応を活用する生理活性含窒素天然物・複素芳香環合成への展開と活性評価 ○タンDEM型環化反応による生理活性天然物・複素環合成とリード探索研究 ○生理活性天然物・複素芳香環の新規合成から活性構 評価及び医薬素材探索研究 ○酵素反応 度論と計算化学の相補的利用による酵素反応機構の解析 ○分子シミュレーションによるリガンド-タンパク質複合体の解析 ○植物内生菌(エンドファイト)と宿主植物の共生関係の解明 ○生物活性天然物質の探索及び高付加価値植物質への生物化学的変換 ○機能性を有する大環状ポリアミン化合物のデザインとその合成 ○生理活性天然物の合成と活性評価系を利用した医薬品リード化合物の探索研究 ○アミノ酸・タンパク質、脂質並びに糖質などの代謝調節機構の解明 ○癌などにおける細胞増殖調節の分子機構に関する研究 ○細胞膜における物質の移動及び認識に関する研究 ○同位体トレーサー法による薬物の体内動態の解析に関する研究 ○RIA及びRRAによる蛇毒液中の生理活性物質の探索に関する研究

<p>病態制御学コース群</p> <p>井上敦子 教授 江藤精二 教授 片山博和 教授 今 重之 教授 佐藤雄己 教授 田中哲郎 教授 田村 豊 教授 道原明宏 教授 大西 正俊 准教授 五郎丸 剛 准教授 渡邊 正知 准教授</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○神経系における生理活性物質の動態と作用に関する研究 ○炎症性反応機構に関する研究 ○脳神経変性疾患に関する研究 ○抗がん剤による副作用の軽減化に関する研究 ○がん化学療法に適正化に関する研究 ○ジェネリック医薬品の品質評価 ○抗てんかん薬の体内動態及び投与設計 ○薬物の経肺吸収 ○がん、自己免疫疾患、線維化疾患の増悪化における細胞外基質と細胞間接着機構の 解明 ○新たな細胞接着抑制能を有する抗体や生体内物質の創出と治療薬への発展 ○インテグリンを介する接着の免疫細胞に及ぼす機能解明 ○医薬品および生理活性物質の高感度・高特異的体液中濃度測定法の開発 ○生理活性物質の生体内挙動解析に基づく病態の成因解明 ○医薬品の PK/PD 解析に基づく新規投与方法の開発 ○抗癌剤を含有する高分子治療剤の合成と評価 ○高度な機能を有する高分子化医薬の設計と評価 ○能動輸送機構を介する標的指向性プロドラッグの合成と評価 ○自己会合型ナノミセルを用いた難水溶性医薬品の製剤化に関する研究 ○ハムスターの冬眠制御機構解明に関する研究 ○神経障害性痛覚過敏の発現機序解明に関する研究 ○モルヒネの耐性形成機序解明に関する研究 ○タンパク質翻訳後修飾機構の異常と脳神経疾患の関連性に関する研究 ○脳卒中発症機構に関する研究 ○コレステロール合成経路の解明
<p>社会環境薬学コース群</p> <p>赤崎健司 教授 岡村信幸 教授 佐藤英治 教授 杉原成美 教授 竹田修三 教授 長崎信浩 教授 前田頼伸 教授 木平孝高 准教授 猿橋裕子 准教授 田淵紀彦 准教授 山下 純 准教授</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○オートファジーにおけるリソソーム膜糖タンパク質の機能解析 ○リソソーム膜タンパク質の細胞内局在機構 ○DNAワクチンの基礎研究 ○筋分化の制御に関わるタンパク質の機能解析 ○漢方薬と腸内マイクロバイオーームとのクロストークに関する研究 ○腸内代謝における薬物相互作用に関する研究 ○複合成分系薬物としての漢方薬の有用性の解明 ○炎症性疾患の免疫系に及ぼす漢方薬の効果に関する研究 ○薬物治療に関する臨床薬学的研究 ○薬学教育および薬剤師の職能向上に関する実践的研究 ○生体の低酸素応答に関する研究 ○薬物輸送タンパク質に及ぼすフラボノイドの影響 ○トランスポーターを介したコレステロールの吸収機構 ○地域薬局の機能~セルフメディケーションの支援と在宅医療における役割~ ○有機性・無機性環境化学物質による毒性発現機構の解析 ○大麻をはじめとする不正流通薬物の毒性発現機構の解析 ○がん増殖機構の解明に関する基礎研究 ○生活習慣改善という患者・生活者自身の行動変容に向けて薬剤師ができる支援に関する研究 ○要指導・一般用医薬品添付文書の理解度および適正使用を向上させる要因についての研究 ○抗生剤適正治療と院内感染対策の実践についての研究 ○緩和ケアの現状と発展性に関する研究 ○腸内細菌を考慮した耐性菌対策の開発 ○医薬品による副作用発現機序の究明 ○既存医薬品の有効性を向上させるプロドラッグの開発 ○保険薬局に来局した高齢者の健康食品の摂取行動と生活習慣の研究 ○透析患者の残薬とその要因の研究